

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 30日

京都市長 宛

提出者

住 所 京都市伏見区深草小久保町303番地

氏 名 株式会社 石川建設

代表取締役 石川英明

電話番号 075-641-2384

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 石川建設
事業場の所在地	京都市伏見区深草小久保町303番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	06 総合工事業 063 舗装工事業
② 事業の規模	元請け完成工事高
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・道路建設工事（舗装工事）、道路維持工事 がれき類（アスファルト・コンクリート塊） →再生処理業者に委託して再生骨材として再資源化 ・混合廃棄物（安定型） →中間処理業者に委託して破碎・選別

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 → 廃棄物担当

- ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・ 処理業者、再生利用業者の選定及び管理
- ・ 委託契約の締結
- ・ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理
- ・ 監督官庁への各種報告
- ・ その他関係する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙集計用シートのとおり t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
		別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の【集計用シート】

・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
 ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら資源再生利用した量(t)		③ 自己資源再処理処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ そのうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理を行った後の量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後の資源再利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後の自産物処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 譲渡及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	⑪ ①-②-③-④+⑥-⑦-⑧+⑨+⑩+⑪													⑫ ①+②から再生利用を行った量(t)	⑬ ①+②から埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)															
																				⑭ 国による処分			⑮ 産業活動廃棄物業者への処理委託量(t)	⑯ 非営利団体等への処理委託量(t)	⑰ 国民生活センター等の処理委託量(t)	⑱ その他市県民務課委託量(t)		⑲ 法理立戻し委託量(t)		⑳ 国産資源開発促進法による委託量(t)	㉑ 国土交通省資源管理課による委託量(t)	㉒ 国土交通省資源管理課による委託量(t)																	
																				前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績			今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績	前年度実績	今年度実績
燃え殻											0	0							0	0																		0	0	0	0								
汚泥											0	0							0	0																			0	0	0	0							
廃油											0	0							0	0																				0	0	0	0						
廃鉄											0	0							0	0																				0	0	0	0						
廃アルカリ											0	0							0	0																					0	0	0	0					
廃プラスチック類											0	0							0	0																						0	0	0	0				
ゴムくず											0	0							0	0																						0	0	0	0				
金属くず											0	0							0	0																						0	0	0	0				
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	90	85									0	0							90	85	90	85																			0	0	0	0					
紙くず											0	0							0	0																						0	0	0	0				
がれき類	2,300	2,000									0	0							2,300	2,000	2,300	2,000																				0	0	0	0				
ばいじん											0	0							0	0																							0	0	0	0			
紙くず											0	0							0	0																							0	0	0	0			
木くず											0	0							0	0																							0	0	0	0			
繊維くず											0	0							0	0																							0	0	0	0			
動植物性残渣											0	0							0	0																							0	0	0	0			
動物系固形不要物											0	0							0	0																						0	0	0	0				
石綿含有産業廃棄物											0	0							0	0																							0	0	0	0			
炭石膏ボード											0	0							0	0																								0	0	0	0		
混合廃棄物(安定型)	5	3									0	0							5	3	5	3																					0	0	0	0			
混合廃棄物(管理型)											0	0							0	0																								0	0	0	0		
											0	0							0	0																								0	0	0	0		
合計	2,398	2,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,398	2,084	2,398	2,084	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が無効であれば小数点以下3桁まで記載は可。